

令和5年度第3回タウンミーティング質疑等の要約

令和5年8月25日（金）山本地区コミュニティセンターにて第3回タウンミーティングを開催しました。いただきました御質問・御要望等について、以下のとおり報告します。

なお、過去のタウンミーティングで寄せられた質疑等の要約については、お知らせかわみなみにて配布、町ホームページにて公開していますので、御確認ください。

タウンミーティングは、月1回を目途に、各地区を回りながら開催する予定です。日程・場所については、防災無線等にてお知らせします。多くの方の参加をお待ちしています。

1 町長、財政課長による議会報告、町政運営方針及び令和5年度予算説明に対する質疑

Q1	配布資料の内容の充実を。
A1	承知した。

2 質疑・要望等

1	川南町の国保税が県内で一番高い。国民健康保険運営基金は活用されているのか。
回答	国保川南という資料を年度初めに各世帯に配布しているので、御確認を。基金は、数年前から切り崩している状態。基金が枯渇してしまうと、一気に国保税が上がってしまう。枯渇することを回避するためにも少しずつ負担をお願いしている。
2	総合教育会議の議事を読むと、中学校統合に対し教育委員会が後ろ向きでは。一刻も早く授業環境の充実を。全国学力テスト、宮崎県が全国平均を下回っている。本町の状況は。
回答	学校に関する基本計画は、政治的中立が確保された教育委員会が単独で決定するものであり、予算及び条例案の提出権は町長、議決権は議会にある。教育委員、教育委員会は統合の方針。既存校への統合は、教室数が不足する等の課題があり、基本方針の作り直し、既存校の環境整備、調査、研究が必要。あわせて、町民の理解も必要。学習環境については、教員の特別加配、入試対策の公営塾、英検検定料の無償化、リーディングスキルテストを活用した読解力向上などを行っている。また、ニューフロンティア教育研究会を設け小中連携教育に取り組んでいるところである。全国学力テストの本町の状況は、把握しているが、競争を目的としたものでないことから公表はしていない。ただ、県平均を上回っている教科も一部あるものの、学力向上が喫緊の課題であることは確かである。
3	鶏糞発電所の第2工場建設が計画されているが、行政の関わりは。また、1号機の活用は。
回答	建築確認申請は上げられていると思うが、補助金等が無ければ町は関与していないと思われる。状況を確認して回答する。 企業と地域は共存共栄することが大事であるため、きちんと地域には説明を行っていただくように要望をしたところ、MBRもその重要性を十分承知しているということで、令和4年9月30日に地区住民説明会を開催している。説明会では、1号機の実績と2号機の計画案を説明している。その際に1号機の扱いと2号機の臭気対策について質問があり、地元との共存共栄について要望があったと聞いている。

	1号機が稼働から相当な年数を経過したため2号機を建設し、1号機で燃やしていた同量の鶏糞を2号機で燃やす計画で、1号機の利用については決まっていないと聞いている。
4	臭いについて、規制区域外では民事訴訟しか手段がないと聞いた。行政側から有効な対策を求める。
回答	今は、民間企業と臭気対策の実証実験を行っている。うまくいけば、規模拡大を行っている。追って担当より回答する。
	健康被害等を受けた被害者が、生じた損害への賠償請求を行う場合、規制区域内外の区別なく民事訴訟を行う必要がある。規制区域内で基準に違反して悪臭を発生させた工場等が仮にあった場合、勧告、改善命令の手順を踏んだのちも改善されなかったときに、初めて罰則が課せられるが、罰金は裁判所に支払われる。損害賠償の求めは、民事であり第三者である町（行政）は、法に基づき介入できない。（質問者へ書面にて回答）
5	川南町の児童生徒の学力低迷の原因は、全国的に通知表を無くすことで、教員の負担軽減を図っている事例があるが、川南町の現状は。
回答	教師の教育力と家庭での反復学習の問題だと考える。通知表については、2年前から3回だった通知表を2回にしている。現在、効果の検証中である。
6	中学校統合に向けたスケジュールの提示を。ぷらっつの役員を充て職で置くのはやめてはいかがか。
回答	中学校の統合は必要だが、教室数など調査、研究が必要。ゼロベースからのスタートになるので、教育委員と共有しながら、スケジュールについて考えていく。 ぷらっつについては、責任をもって、利便性、サービスの向上に取り組んでいく。

※プライバシーに関わるもの等は、個別対応とさせていただきます掲載しておりません。